

# 防災マニュアル 地震にあったら

参考:「消防庁 防災マニュアル」(総務省) ([https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai\\_manual/index.html](https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/index.html))を加工して作成

地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。そのためには、みなさんが地震について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から地震の際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。

### 海岸



津波注意標識の例

- 近くに高台がない場合は、3階建て以上の建物を目指し、**3階より上**に上がります。
- 津波は繰り返して来て、第一波の後にさらに高い波が来ることもあります。**いったん波が引いても絶対に戻ってはいけません。**
- 避難標識が整備されている場合には避難する際の目安になります。

海岸で強い揺れに襲われたら、一番恐ろしいのは**津波**です。**避難の指示や勧告を待つことなく、安全な高台や避難地を目指しましょう。**

### 川べり




津波の潮流

- 流れに沿って上流側へ避難しても津波は追いかけてきます。**流れに対して直角方向に素早く避難**します。

津波は水を湛えている川を避ります。


### 運転中



- 揺れを感じたら
- ①ハンドルをしっかりと握り、前後の車に注意しながらスピードを落とし、道路の左側に停車します。
- ②エンジンを切り、揺れがおさまるまでは**車外に出ず**、情報を入手します。
- ③避難の必要がある場合は、車のキーはつけたままにし、**ドアをロック**しないで、窓を閉めます。
- ④連絡先を見えるところに書き、車検証などの貴重品を持ち、徒歩で避難します。

**急ブレーキを踏めば予想外の事故**を引き起こすことにつながります。車での避難は、緊急自動車などの妨げになりますのでやめましょう。

### 地下鉄



- 座席に座っている場合には、**低い姿勢をとって頭部を鞆などで保護**し、**立っている場合には手すりやつり革をしっかりと握って転倒しないよう**にしましょう。
- 地下鉄によっては高圧電線が線路脇に設置されているので、勝手に線路に飛び降りると大変危険です。

震度5弱程度の揺れを観測した場合に運転を停止し、線路途中なら安全を確認し、低速で最寄りの駅に向かいます。


### エレベーター



- エレベーターに閉じこめられても、**焦らず冷静になって「非常呼び出しボタン」等での連絡を取る努力**をしましょう。
- 地震の時は同様に閉じこめられている人も大勢いると予想されます。救助にすぐに駆けつけてくれるとは限りません。

**全ての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる**のが原則ですが、停止した階の状況を見極めるのも大切です。

### オフィス街




- オフィスの**窓ガラスが割れて落下**すると、**時速40~60kmで広範囲に拡散**します。
- ビルの外壁や店の看板などが落ちることもあります。**鞆などで頭を保護し、できるだけ建物から離れ**ましょう。

中高層ビルが建ち並ぶオフィス街や繁華街では、**窓ガラスや外壁、看板などが落下してくる危険性**があります。

**備えを心がけておくことが、災害の軽減につながります!**

### ちゅーん豆知識

海の日はもともと祝日ではなく、海運、造船、港湾などの海産業について国民に理解を深めてもらうよう制定された海の記念日でした。祝日として「海の日」が施行されたのは、1996年となります。法改正により2003年度からは7月の第三月曜と定められました。2021年はオリンピック特別措置として「海の日」は7月22日、「スポーツの日」は7月23日、「山の日」は8月8日に移動します。



### Rentalsのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

Rentalsのニッケン   **メルマガ配信中!**

安全ニュースのご活用についてのお願い

弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複製・複製・貸付・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

### Rentalsのニッケン

公式 **Twitter** はじめました!!

フォロー宜しくお願ひします!



安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください **e-mail: [nikken@rental.co.jp](mailto:nikken@rental.co.jp)**

# Rentalsのニッケン -Safety News- 安全ニュース

2021年 7月号 NO. 235

株式会社 Rentalsのニッケン  
編集・発行 安全技術部 / 営業企画部  
お問い合わせ TEL.03-5512-7411  
発行日 2021年7月1日

### 特集 気象・悪天候

- 令和2年7月豪雨
- 大雨等に対する防災気象情報の高度化
- 災害事例と対策
- 身のまわりの災害リスクを調べよう
- 防災マニュアル 地震にあったら

2021年 8月号の予告  
電気使用安全月間

## 令和2年7月豪雨

参考:「令和2年7月豪雨による被害及び消防機関等の対応状況(第56報)」(総務省消防庁) ([https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/210226\\_oame56.pdf](https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/210226_oame56.pdf))、  
「水害レポート2021」(国土交通省) ([https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet\\_jirei/pdf/suiga2020.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/pdf/suiga2020.pdf))を加工して作成

令和2年7月、梅雨前線による豪雨が発生し、九州、東北地方等で大きな被害が発生。**死者・行方不明86名、住家被害約16,600棟**など極めて甚大な被害となった。

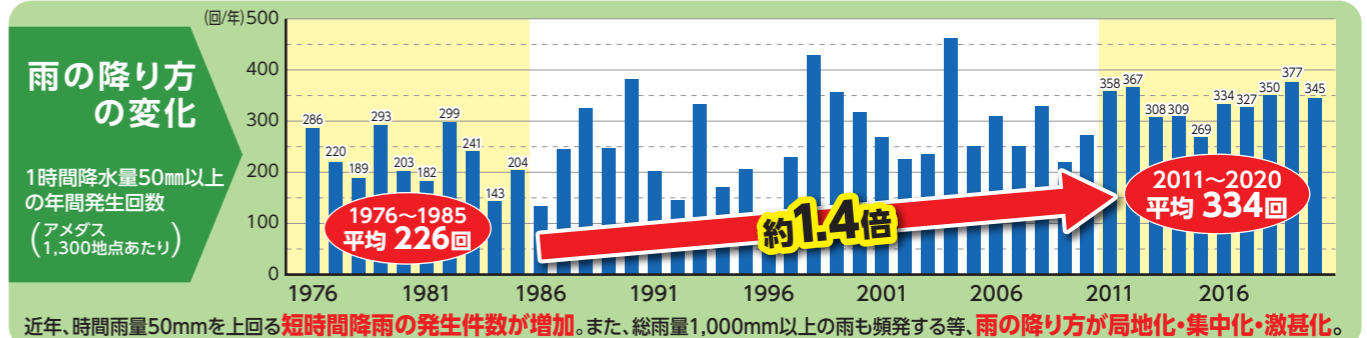


主な風水害被災地域(床上浸水20棟以上)

県	死傷者	住家全・半壊	床上浸水	発表日
福岡県	11人	1,006棟	681棟	7月6日 大雨特別警報を発表
佐賀県	3人	11棟	25棟	7月6日 大雨特別警報を発表
長崎県	4人	7棟	124棟	7月6日 大雨特別警報を発表
熊本県	114人	4,586棟	301棟	7月4日 大雨特別警報を発表
鹿児島県	5人	60棟	136棟	7月4日 大雨特別警報を発表
山形県	1人	63棟	150棟	7月8日 大雨特別警報を発表
岐阜県	2人	42棟	31棟	7月8日 大雨特別警報を発表
大分県	8人	277棟	129棟	

7月3日~7月31日の総降水量は、長野県や高知県の多い所で2,000mmを超えたところがあり、九州南部、九州北部、東海、及び東北の多くの地点で、24、48、72時間降水量が観測史上1位の値を超えた。約203河川で決壊等による氾濫が発生。全国で約13,000haが浸水。

参考:「令和2年7月豪雨による被害と対応」(国土交通省) ([https://www.mlit.go.jp/river/shingikai\\_blog/hazard\\_risk/dai05kai/dai05kai\\_sankosiryu02.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/shingikai_blog/hazard_risk/dai05kai/dai05kai_sankosiryu02.pdf))、  
「令和2年7月27~29日出水(前線及び低気圧)の概要」(東北地方整備局) (<http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/syussuisokuhou/R2.7/shussuisokuhou200807.pdf>)、  
「令和2年7月豪雨による河川の状態等」とりまとめました(中国地方整備局) (<https://www.cgr.mlit.go.jp/kisha/202008/200825-1top.pdf>)を加工して作成



★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

# 大雨等に対する防災気象情報の高度化

参考:「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の対策例」(内閣官房) (https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo\_kyujinka/5kanenkasokuka/pdf/taisakurei.pdf)、  
「令和3年度気象庁関係予算決定概要」(国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/page/content/001379049.pdf)を加工して作成

人々の命と暮らしを守るため、大雨等に対する防災気象情報の高度化に向けた対策を国が実施主体となり行うことが計画されています。

## 線状降水帯の予測精度向上に向けて

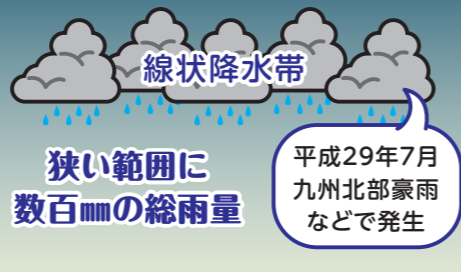
- 水蒸気量等の観測強化。
- 海洋気象観測船の更新等による観測の継続性強化。
- 静止気象衛星ひまわり8号・9号の後継衛星について、2023年度をめどに製造に着手する。

## 防災気象情報の高度化の実施に向けて

- 最新のスーパーコンピュータシステムの導入による計算能力を強化。
- 解析・予測技術向上に向けた開発体制を強化。
- 情報システムの更新。

## 線状降水帯とは?

次々と発生した積乱雲により、**線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞**することで、大雨をもたらすもの。発生すると、災害の危険性が高くなります。

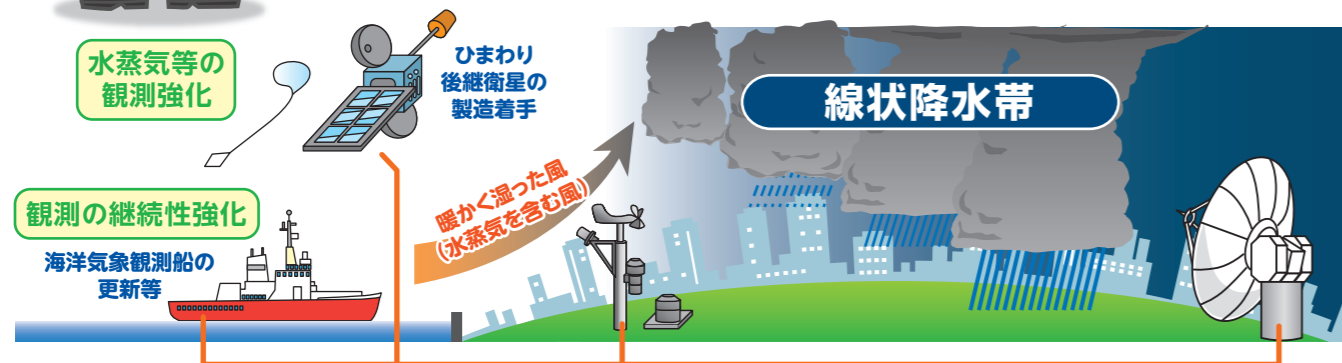


## 対策による達成目標

2025年度までに!

### 集中豪雨に対する気象予測精度を向上

半日前から線状降水帯等による大雨に伴う危険性<sup>※</sup>を概ね県単位で国民向けに呼びかける**情報を提供**し、避難等の行動を促すことを可能にする。  
※発生のおそれが高まっていること



解析・予測技術向上

最新のスーパーコンピュータシステムの導入

**防災気象情報高度化** 半日前から線状降水帯による集中豪雨に伴う危険度分布を提供(2030年までに開始)  
※イメージ  
台風予測精度の向上

画像:「新しいスーパーコンピュータの運用を開始します」(気象庁) (https://www.jma.go.jp/jma/press/1805/16b/20180516\_hpc\_renewal.html)より

# 災害事例と対策

参考:「労働災害事例」(厚生労働省) (http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\_pg/SAI\_FND.aspx)を加工して作成

### 雨の中での下水道管の埋設作業中に、法面が崩壊

**対策**

- ◆ 降雨の場合作業を一時中止し、地山の状況を十分に観察する。
- ◆ 必要に応じて土止めの補強や作業方法の変更をする。

### 前日の大雨の影響により法面が崩壊し作業員が生埋めになる

**対策**

- ◆ 気象・地山・湧水等の状況を観察し、異常があれば作業を中止する。
- ◆ 工事規模によっては事前に地質の調査を実施し、結果に応じた施工方法を採用する。

### 増水した河川敷地内に作業員が取り残される

**対策**

- ◆ 河川が増水したときは、作業を中止し避難する。
- ◆ 事前に降雨量の把握方法、作業中止に関する基準、避難・救助方法を定める。

### 河川護岸工事中のクレーンへの落雷

**対策**

- ◆ 天候が急変した場合には雷鳴の大小や、発生地点の距離に関わらず即座に作業を中止する。
- ◆ 日々の気象情報を確認する。

## 身のまわりの災害リスクを調べよう

参考:「水害レポート2020」(国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet\_jirei/pdf/suigai2020.pdf)を加工して作成

事前の防災対策や災害時の避難などに役立つ様々な情報を全国どこでも1つの地図上でまとめて確認できる「**重ねるハザードマップ**」と、全国の各市町村のハザードマップを確認できる「**わがまちハザードマップ**」を公開しています。予め関係するエリアを確認しておきましょう。

### ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

#### < 重ねるハザードマップ >

洪水・土砂災害・大潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

#### < わがまちハザードマップ >

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

(例: 東京都葛飾区のハザードマップ)